

令和4年度郊外部再生・活性化特別委員会報告書 構成（案）

1 付議事件

都市の成長の基盤を支える魅力と活力ある郊外部のまちづくりに関すること。

2 調査・研究テーマ

郊外部にある観光資源の魅力とその情報発信について

3 テーマ選定の理由

近年、日本国内でも人口減少が加速しており、また本市でも少子高齢化が進んでいる。それに伴い、生産年齢人口の減少及び社会保障費の増加などのため、市内活力の維持がこれまで以上に重要視されている。そのような状況の中で、将来にわたって広く市内経済の活性化を図るためには、都市部のみでなく、市内人口の6割が居住している郊外部での取組が一層重要になると考えられる。

しかしながら、郊外部においては、大規模団地等の老朽化、空き家の増加といった課題や、住民の急速な高齢化が懸念されており、本市郊外部に多様な世代の人を「呼び込み」、「定着させる」ことは、郊外部の活性化にとって、急務であると言える。

そうした中、これまでの本委員会における調査・研究としては、多様な年代が暮らしやすく世代の循環が生まれるまちづくりや、新たな生活様式のもと、住まいや自宅周辺エリアを「住む」だけで無く、生活全体がその場所で満たされるといった住環境整備の重要性や、地域のニーズを踏まえた持続可能な地域交通の一層の充実など、主に、郊外部へ「定着させる」といった切り口での調査・研究が行われてきた。

今年度においては、人を「呼び込む」という切り口に着目し、郊外部にある既存の観光資源や、地域ごとの特色に対して、デジタル技術等、新たな要素と組み合わせることにより、観光資源の価値向上を図り、それによって生じる新たな魅力と、人を惹きつける効果的なプロモーション方法等について、調査・研究を行うこととした。

4 委員会活動の経緯等

(1) 令和4年6月8日 委員会開催（第1回）

ア 議題

令和4年度の委員会運営方法について

イ 委員会開催概要

令和4年度の委員会運営方法及び今年度の調査・研究テーマ案について、委員間で意見交換を行った。

ウ 委員意見概要（委員会における委員意見等を記載）

(2) 令和4年9月20日 委員会開催（第2回）

ア 議題

調査・研究テーマ「郊外部にある観光資源の魅力とその情報発信」について

イ 当局説明概要

調査・研究テーマに関連する本市施策について、次のとおり当局から説明を聴取した後、意見交換を行った。

【出席局】環境創造局、政策局

(ア) 横浜の農畜産物と地産地消の発信について（説明概要を記載）

(イ) マスメディアにおける横浜の農（地産地消）関係のプロモーションについて（説明概要を記載）

ウ 委員意見概要（委員会における委員意見等を記載）

(3) 令和4年11月29日 委員会開催（第3回）

ア 議題

参考人の招致について

イ 委員会開催概要

本委員会の付議事件に関連して、参考人からの意見聴取を行うことを決定した。

参考人：株式会社雨風太陽 代表取締役

高橋 博之 氏

案件名：産直ECアプリ等を通じた生産者と消費者の共助の関係を育む取組について

(4) 令和4年12月2日 委員会開催（第4回）

ア 議題

(ア) 産直ECアプリ等を通じた生産者と消費者の共助の関係を育む取組について

(イ) 調査・研究テーマ「郊外部にある観光資源の魅力とその情報発信」について

イ 参考人講演概要（参考人講演の概要を記載）

ウ 委員意見概要（委員会における委員意見等を記載）

(5) 次回委員会（第5回）

当日の概要を記載

5 郊外部にある観光資源の魅力とその情報発信についてのまとめ

委員意見等から導き出される本委員会のまとめを記載